令和5年7月1日

製造部長 〇〇〇〇 様

製造部一課 ××××

**事故に関する経緯報告書**

〇年〇月〇日に工場内で発生した事故について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事故発生日時： 2023年12月1日 午後2時45分
2. 事故発生場所： 株式会社〇〇製造部第一工場
3. 事故の概要

2023年12月1日の午後2時45分頃、第一工場の機械ラインで機械の故障が発生しました。該当機械は自動組立ラインの一部であり、故障により一時的に生産が停止しました。この事故による人的被害はありませんでした。

1. 事故発生までの経緯

事故発生前日、該当の機械は定期的なメンテナンスを受けました。メンテナンス後のテスト運転では特に問題は確認されませんでした。しかし、事故発生当日、機械の異常な音を作業員が報告し、直後に故障が発生しました。

1. 事故発生後の対応

故障発生後、直ちに生産ラインを停止し、安全確保のための措置を行いました。専門のメンテナンスチームを呼び、故障原因の調査を開始しました。故障部品はすぐに交換され、事故発生から3時間後には生産を再開しました。

1. 原因分析

調査の結果、故障の原因は機械の主軸部の摩耗が進行していたことによるものでした。定期メンテナンスではこの部分のチェックが不十分であり、異常を見逃していました。

1. 今後の対策

今後は以下の対策を講じることで再発を防止します。

* 定期メンテナンスの手順を見直します。特に摩耗が進行しやすい部品のチェックを強化します。
* 作業員への機械異常報告に関する教育を強化し、問題が軽微な初期段階での発見を促進します。
* 部品の予備在庫を増やし、迅速な交換ができる体制を整えます。
1. 結論

今回の事故は、メンテナンスが不十分であったことが原因で発生しました。今後はメンテナンス手順の改善と教育の徹底を図り、同様の事故の再発防止に努めます。

以上